

今週（1月26日から1月30日）の短期金融市場動向

●無担保コール市場

今週の無担保コールO/N物は、前週に引き続き調達ニーズが強く、出会いの水準は0.727～0.728%が中心となった。今週は複数の先から試し取りが実施されたことから、週前半を中心に加重平均レートがやや上振れる展開となったが、通常取引への影響は少なく、総じて落ち着いた相場となった。

ターム物に関しては、一部の大手証券から期内物(1～2M物)のレートを引き上げて調達する動きが見られたことから、やや活況となった。

日銀当座預金残高は、29日(木)まで464兆円前後で小幅に変動する程度であったが、30日(金)の気候変動オペ残高増加を受けて、468兆円台半ばまで増加する見込みとなった。

●債券レボ市場

今週のO/N GCIは、0.74～0.755%近辺での取引となった。29日(木)は輪番オペの実施が意識されたことで、ややレートが低下したものの、30日(金)は短国3M物と2年債の発行要因からレートが上昇する展開となった。

SCはカレント銘柄近辺や、チーペスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、6Mゾーン、1Yゾーンが軟調に推移した。

30日(金)に実施された3M物入札は、事前予想に比べ強い結果となり、結果発表後のセカンダリーでも堅調に推移した。

●CP市場

今週のCP発行市場は、月末週の発行にあたり、幅広い業態が大型発行を実施した。

市場残高は週を通して概ね26兆円台前半～半ばで推移した。

発行レートについては、銘柄や期間により投資家の運用目線にばらつきが見られた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レボレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
1/26 (月)	52,885.25	2.235	154.77	0.728	0.750	4,641,500
1/27 (火)	53,333.54	2.284	154.29	0.736	0.750	4,636,400
1/28 (水)	53,358.71	2.235	152.58	0.727	0.746	4,638,800
1/29 (木)	53,375.60	2.250	153.09	0.727	0.741	4,638,800
1/30 (金)	53,322.85	2.244	153.60	0.727	0.750	4,681,500

## 来週（2月2日から2月6日）の短期金融市場動向

### ●経済カレンダー （※米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要がある。）

	国内主要経済指標	国債等入札予定		海外主要経済指標
2/2 (月)	決定会合における主な意見(1月22,23日分 8:50)			1月のISM製造業景況指数
2/3 (火)	1月のマネタリーベース(日銀 8:50) 財政資金対民間収支前月実績/当月見込み(財務省 15:00)	10Y 2/4発行 26,000億円	交付税借入 2/13借入 13,000億円	
2/4 (水)	2月の日銀当座預金増減要因見込み(日銀 8:50)			1月のISM非製造業景況指数 1月のユーロ圏消費者物価指数速報値
2/5 (木)		30Y 2/6発行 7,000億円		ECB理事会 英中銀MPC
2/6 (金)	増日銀審議委員 愛媛県金融経済懇談会における挨拶 12月の全世帯家計調査(総務省 8:30) 1月のマネタリーベースと日本銀行の取引(日銀 8:50) 12月の景気動向指数速報(内閣府 14:00)	TDB3M 2/9発行 47,000億円		1月の米雇用統計 12月の米消費者信用残高 2月のミシガン大消費者信頼感指数速報

### ●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
2/2 (月) 日銀予想	800	▲ 23,900	▲ 23,100	国債補完 社債買入	2,500 ▲ 300		2,200	▲ 20,900	TDB3M発行▲47,000 償還43,000 2Y発行▲28,000 償還15,900
2/3 (火) 弊社予想	1,000	▲ 20,000	▲ 19,000				0	▲ 19,000	
2/4 (水) 弊社予想	1,000	▲ 91,500	▲ 90,500	共通担保	▲ 8,000		▲ 8,000	▲ 98,500	法人税・消費税揚げ 年金・労働保険料揚げ 10Y発行▲26,000 交付税借入▲13,000 期日10,500
2/5 (木) 弊社予想	500	0	500				0	500	
2/6 (金) 弊社予想	500	▲ 9,500	▲ 9,000				0	▲ 9,000	30Y発行▲7,000 交付税借入▲13,000 期日10,500
週 間 合 計	3,800	▲ 144,900	▲ 141,100	—	▲ 5,800	0	▲ 5,800	▲ 146,900	

### ●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き堅調な資金調達ニーズが見込まれるため、0.727%近辺での推移が予想される。債券レボ GC T/N物のレートは、0.735~0.76%程度の水準で推移することが予想される。短国市場は、6日(金)に3M物入札が予定されている。CP市場は、月初発行にあたり、発行案件がどの程度膨らむか注目される。

主要なイベントは、国内では2日(月)に決定会合における主な意見(1月22・23日分)、6日(金)に増日銀審議委員 愛媛県金融経済懇談会における挨拶、12月の全世帯家計調査、海外では、2日(月)に1月のISM製造業景況指数、4日(水)に1月のISM非製造業景況指数、1月のユーロ圏消費者物価指数速報値、5日(木)にECB理事会、英中銀MPC、6日(金)に1月の米雇用統計などの公表が予定されている。

(※尚、米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要がある。)

- ◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。